調査に関する事前評価済（H23）

平成２５年度　公共事業事前評価調書（簡易型）

１．事業評価説明シート

（区分）国補　県単

事業名	急傾斜地崩壊対策事業［急傾斜地崩壊対策事業（国補）］	事業箇所	都留市　四日市場	地区名	瀬中の2（せなかの2）	事業主体	山　梨　県

（１）事業概要

①課題・背景

・瀬中の２地区は県東部の都留市四日市場に位置し、一級河川菅野川左岸沿いの急傾斜地である。
・当該斜面は平均斜面高50m、平均勾配39度の急傾斜地であり、脆弱な地質に加え火山噴出物に広く覆われ、部分的な表層崩壊も発生している。
・保全対象には、災害時要援護者関連施設である医療法人社団青虎会ﾂﾙ虎ﾉ門外科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院の他、人家4戸、県道戸沢谷村線があり、当該斜面が崩壊した場合には甚大な被害を及ぼすことが予想され、その対策が急務である。

②整備目標・効果

□主要目標　○崖崩れ被害の防止
・過去の災害実績、緊急度、災害発生の危険度：　12点≧10点以上※
・人家一戸当りの被害軽減額　114百万円／戸≧39百万円／戸以上※
・災害時重要公共施設：無
・保全対象（災害時要援護者関連施設：ﾂﾙ虎ﾉ門外科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院、人家4戸、重要公共施設：県道戸沢谷村線L=100m）
「※」：評価基準値

□副次目標　－

□副次効果　－

（２）整備内容と整備量

①整備内容

・重力式擁壁工L＝210m H＝4.0m　・落石防護柵工L＝210m H＝2.0m　・法面保護工A=1,000㎡

②整備期間　平成26年度～平成30年度

③総事業費　約100百万円
（国費：47.5百万円(4.75/10)、県費：47.5百万円(4.75/10)、市：5百万円(0.5/10)）

④全体計画

	（年度別整備内容）	（事業費）
平成26年度	地形測量、地質調査、詳細設計	10百万円
平成27年度	用地測量、用地取得・補償、（擁壁・落石防護・法面保護）工事	30百万円
平成28年度	（重力式擁壁・落石防護柵・法面保護）　工事	20百万円
平成29年度	（重力式擁壁・落石防護柵・法面保護）　工事	20百万円
平成30年度	（重力式擁壁・落石防護柵・法面保護）　工事	20百万円

⑤既整備内容・期間・事業費

・なし

（３）事業の妥当性評価

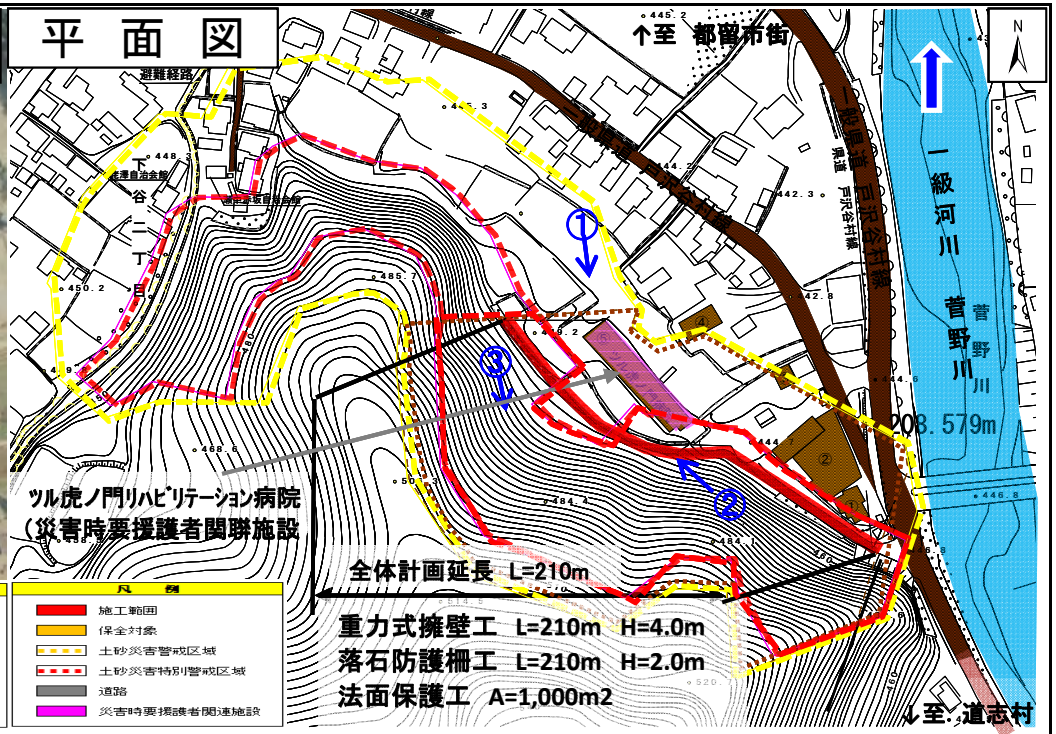
	妥当	妥当でない
①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）	○	
・急傾斜地法第１２条により、行政が行うことが妥当。		
②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）	○	
・急傾斜地法第１２条により、県が行うことが妥当。		
③経済妥当性	○	
費用便益費　便益（B）/費用（C）＝　６．２　＞　１．０		
・便益（B）＝571百万円、・費用（C）＝92百万円		
④事業実施・規模の妥当性	○	
・地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。		
⑤整備手法の有効性	○	
・地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。		
⑥環境負荷への配慮	○	
・緑化等を行い環境負荷に配慮する。		
⑦事業計画の熟度	○	
・地元要望に基づいており、地域の同意は得られている。		
総 合 評 価　［貢献度ランク：a］	○	

【事業位置図等】

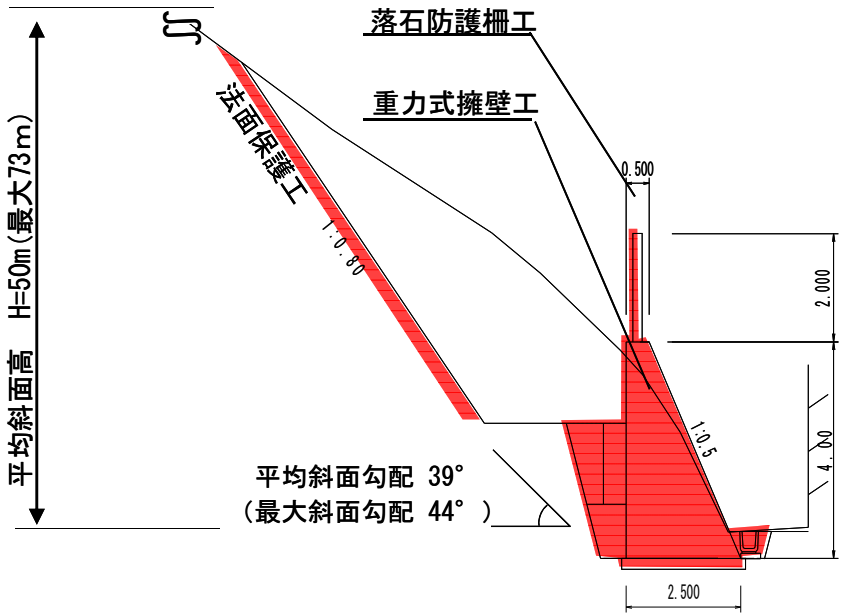
2．添付資料シート

全景写真

平　面　図



標準横断図



①斜面状況・保全対象（災害時要援護者関聯施設：ツル虎ノ門病院（収容定員100名））

②斜面状況（近景）

③斜面状況（近景）